



# ちゅうりっぷだより

令和4年5月20日  
川口市立舟戸幼稚園  
年少ちゅうりっぷ組

園庭や土手で、鳥たちの楽しそうな歌声が聞こえてきます。過ごしやすい気候になり、鳥たちも羽を伸ばしているようです。

晴れた日には、子供たちは園庭での遊びを楽しみにし、教師と一緒にスクーターやかけっこ、砂遊びをして太陽の日差しを満喫しながら遊んでいます。「一緒に遊ぼう」と友達を誘ったり、「僕もやりたい」と自分の思いを表したりと、少しずつ友達とのふれあいを楽しむ姿が見られるようになってきました。

園生活に慣れ、遊びや活動を広げていけるよう、一人一人の思いを大切に受け止めながら、子供たちと関わっていきたいと思います。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## みんなで食べるとおいしいね

毎日楽しみにしているお弁当の時間。机を並べると、レストランの開店です。準備や片付けの手順も少しずつ身につき、次にすることを自分でがんばろうとする姿が見られるようになってきました。食事中は、コロナ禍ということもあり、前を向き、なるべく静かに食事をします。「見て！全部食べたよ」と、嬉しそうに空っぽになったお弁当箱を見せてくれます。和やかで楽しい雰囲気の中で食事を進められるように配慮しながら、こぼさないように食べる、口の中の食べ物がなくなったら話をするなどの食事のマナーも少しずつ伝えていきたいと思っています。食べ終わると、絵本を見て、ゆっくり体を休めることが大切なことを伝え、休息をとるようにしています。いつも、おいしいお弁当をつくってくれるお家の方へ感謝の気持ちを忘れないように声かけをしていきたいと思っています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『自立心』につながる姿が見られます。



## ちゅうりっぷ遊園地って楽しいね

入園してから約1か月。子供たちも徐々に園生活の仕方や流れが分かり、自分から安心して好きな遊びに取り組むようになってきました。遊びの場も、保育室、ベランダ、遊戯室、園庭、にじの広場（玄関前の広場）と広がり、いろいろな遊びに興味をもって取り組むようになりました。

保育室では、ブロックで長い電車をつくって走らせたり、友達がつくっている電車の仲間入りをしたりして、友達と同じものをつくりたいという気持ちが出てきました。また、教師と一緒に綿あめやヤクルルキャンディなどをつくって、あめやさんごっこを楽しみました。また、「ウーバーイーツさん、おいしいものを届けてください」「仲間のウーバーイーツとすぐ届けます」とたくさんのごちそうがベランダに運ばれ、パーティが始まりました。

園庭では、砂場で、山づくりやごちそうづくりを楽しんだり、順番を守ってスクーターに乗ったりと、のびのびと遊ぶ姿が見られました。にじの広場にサーキット遊びの場をつくり、「遊園地にご招待します」と、ジャンプ台や平均台、滑り台などで遊ぶと、「遊園地って楽しいね」「また、遊園地で遊びたい」などの声が聞こえます。友達と一緒に遊ぶことが楽しくなり、「一緒に遊ぼう」「いいよ」など言葉を交わしながら、互いに笑顔になる姿がとても微笑ましいです。一人一人の思いを受け止めながら、「楽しい」「またやりたい」という満足感へとつながるように配慮しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『協同性』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

## 6月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 先生と友達と一緒に過ごす中で、自分のしたい遊びを十分に楽しむ。
- いろいろな素材や用具に触れて、使ったり遊んだりする楽しさを感じる。
- 水の感触や気持ちよさを感じながら、水遊びを楽しむ。
- 簡単な身の回りのことを自分でしようとする

